

平成 30 年 6 月の熱中症による救急搬送状況

熱中症による救急搬送人員数について、平成 30 年 6 月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

概 要

- 平成 30 年 6 月の全国における熱中症による救急搬送人員数は 5,269 人でした。これは、昨年 6 月の救急搬送人員数 3,481 人と比べると 1,788 人多くなっています。
- 全国の熱中症による救急搬送状況の年齢区分別、傷病程度別等の内訳は次のとおりです。
 - 救急搬送人員数の年齢区分では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年、乳幼児の順となっています。
 - 搬送された医療機関での初診時における傷病程度をみると、軽症（外来診療）が最も多く、次いで中等症（入院診療）、重症（長期入院）の順となっています。
 - 発生場所ごとの救急搬送人員数をみると、住居が最も多く、次いで道路、公衆（屋外）、仕事場①の順となっています。
 - ※仕事場①とは、道路工事現場、工場、作業所等
 - 都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数は、沖縄県が最も多く、次いで群馬県、福島県の順となっています。

- 熱中症は正しい知識を身につけ、適切に予防することで、未然に防ぐことが可能です。引き続き厳しい暑さが続く見込みですので、予防対策として、日陰や涼しいところで休憩をとること、こまめに水分補給を行うこと、屋外では帽子をかぶることなどに心がけてください。
- 消防庁では、熱中症予防啓発のコンテンツとして、「予防啓発ビデオ」「予防啓発イラスト」「予防広報メッセージ」「予防啓発取組事例集」を消防庁 HP 熱中症情報サイトに掲載しています。
全国の消防機関をはじめ、熱中症予防を啓発する関係機関にも御活用いただけるよう、以下の消防庁 HP にコンテンツを掲載していますので、是非御活用ください。

○ 資料の入手方法

資料については、総務省ホームページ（<http://www.soumu.go.jp>）の「報道資料」欄及び消防庁ホームページ（<http://www.fdma.go.jp/>）に、本日（31日（火）14時）を目途に掲載するほか、総務省消防庁救急企画室（総務省 3 階）において閲覧に供するとともに配布します。



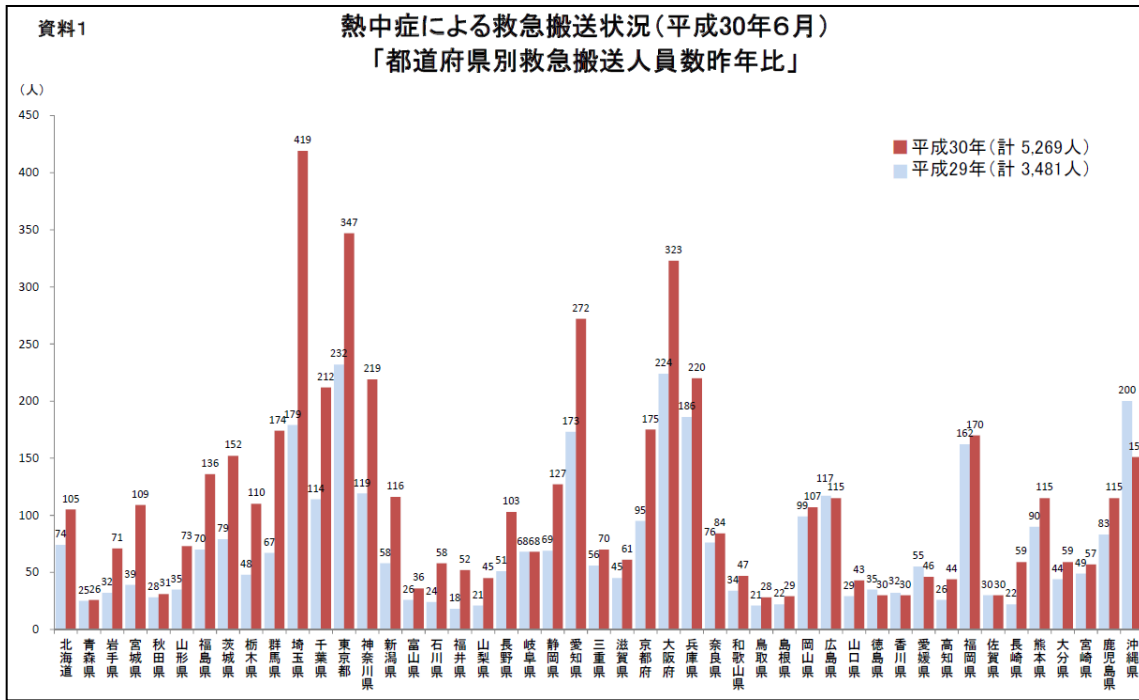
(連絡先)
消防庁救急企画室
担当：小谷、小川、中西
電話：03-5253-7529
FAX：03-5253-7532

平成30年6月の熱中症による救急搬送状況の概要

平成30年6月の熱中症による救急搬送状況について調査を行ったところ、その概要は以下のとおりでした。

1 総数

平成30年6月の全国における熱中症による救急搬送人員数は5,269人でした。これは、昨年6月の救急搬送人員数3,481人と比べると1,788人多くなっています。
(資料1、2、4、5、6、8)

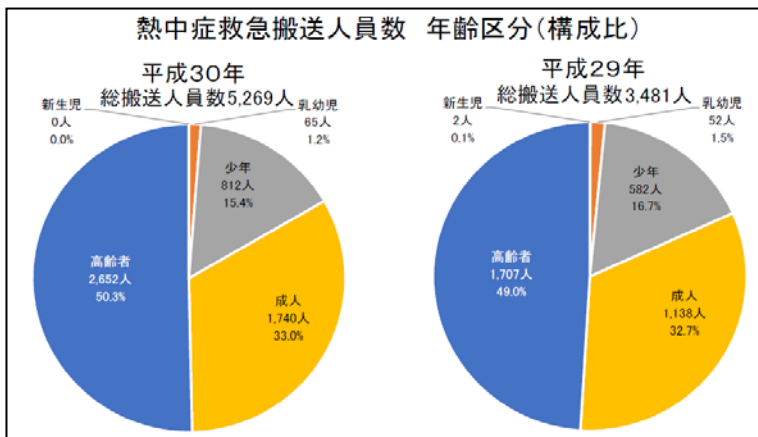


2 内訳

(1) 年齢区分ごとの救急搬送人員数

高齢者(満65歳以上)が2,652人(50.3%)、次いで成人(満18歳以上満65歳未満)1,740人(33.0%)、少年(満7歳以上満18歳未満)812人(15.4%)、乳幼児(生後28日以上満7歳未満)65人(1.2%)の順となっています。

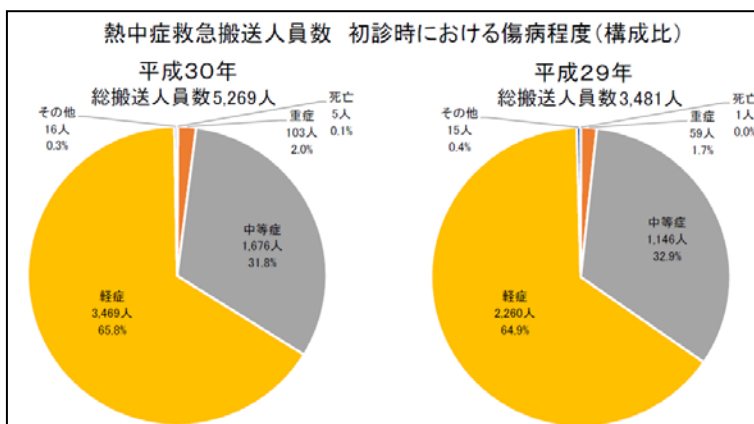
(資料2、5-1、6-1)



新生児: 生後28日未満の者
乳幼児: 生後28日以上満7歳未満の者
少年: 満7歳以上18歳未満の者
成人: 満18歳以上65歳未満の者
高齢者: 満65歳以上の者

(2) 医療機関での初診時における傷病程度ごとの救急搬送人員数

軽症（外来診療）が最も多く3,469人（65.8%）、次いで中等症（入院診療）1,676人（31.8%）、重症（長期入院）103人（2.0%）の順となっています。（資料2、5-1、6-1）



死亡 初診時において死亡が確認されたもの

重症 (長期入院) 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症 (入院診療) 傷病程度が重症または軽症以外のもの

軽症 (外来診療) 傷病程度が入院加療を必要としないもの

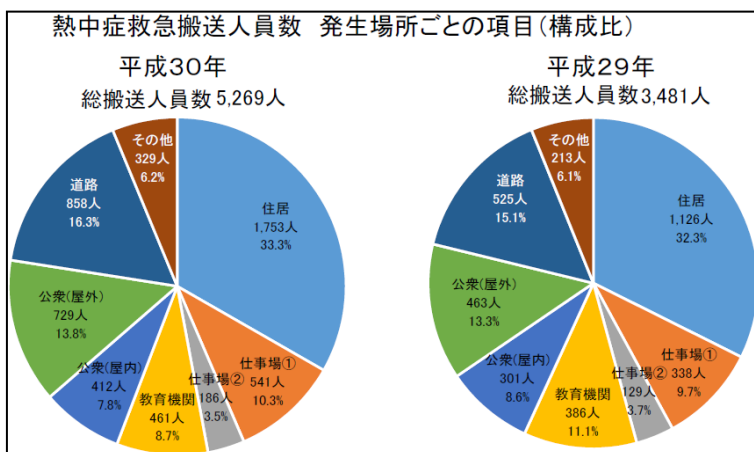
その他 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの

※なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった者や通院による治療が必要だった者も含まれる。

(3) 発生場所ごとの救急搬送人員数

住居が最も多く1,753人（33.3%）、次いで道路858人（16.3%）、公衆（屋外）729人（13.8%）、仕事場①541人（10.3%）の順となっています。（資料2、5-2、6-2）

※仕事場①とは、道路工事現場、工場、作業所等



住居 (敷地内全ての場所を含む)

仕事場① (道路工事現場、工場、作業所等)

仕事場② (田畑、森林、海、川等 ※農・畜・水産作業を行っている場合のみ)

教育機関 (幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等)

公衆(屋内) 不特定者が出入りする場所の屋内部分 (劇場、コンサート会場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場、駅(地下ホーム)等)

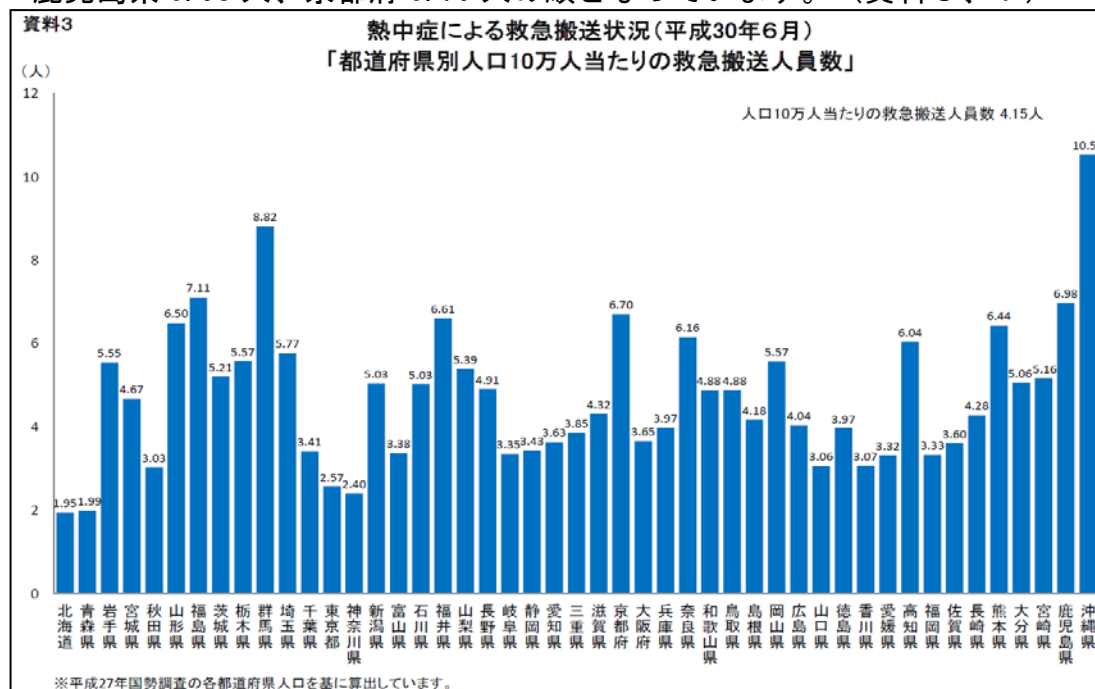
公衆(屋外) 不特定者が出入りする場所の屋外部分 (競技場、各対象物の屋外駐車場、野外コンサート会場、駅(屋外ホーム)等)

道路 (一般道路、歩道、有料道路、高速道路等)

その他 (上記に該当しない項目)

(4) 都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数

沖縄県が最も多く10.53人であり、次いで、群馬県8.82人、福島県7.11人、鹿児島県6.98人、京都府6.70人の順となっています。（資料3、7）



【注意事項】

- 熱中症は正しい知識を身につけ、適切に予防することで、未然に防ぐことが可能です。引き続き、厳しい暑さが続く可能性がありますので、予防対策として、以下の項目に心がけてください。
 - ・日陰や涼しいところで休憩をとりましょう。
 - ・こまめに水分補給を行いましょう。
 - ・屋外では帽子をかぶりましょう。

- 消防庁では、熱中症予防啓発のコンテンツとして、「予防啓発ビデオ」「予防啓発イラスト」「予防広報メッセージ」「予防啓発取組事例集」を消防庁 HP 熱中症情報サイトで掲載しています。

全国の消防機関をはじめ、熱中症予防を啓発する関係機関にも御活用いただけるよう、以下の消防庁 HP にコンテンツを掲載していますので、是非御活用ください。
消防庁 HP『熱中症情報』：http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

【参 考】

- 気象庁「6月の天候」より抜粋
2018年（平成30年）6月の天候の特徴は以下のとおりです。
 - ・月平均気温は全国的に高かった
日本の南東海上で太平洋高気圧の勢力が強く、上旬には日本の東海上で移動性高気圧の勢力が強まりやすかった時期もあり、月平均気温は全国的に高かった。
 - ・北海道地方では、降水量がかなり多かった
北海道地方では、低気圧や前線の影響で、月降水量はかなり多かった。
 - ・日照時間は東日本太平洋側ではかなり多く、東・西日本日本海側で多かった
東日本太平洋側では、梅雨前線や湿った空気の影響を受けにくかったため、月間日照時間はかなり多く、東・西日本日本海側でも多かった。
参照 URL：<http://www.jma.go.jp/jma/press/1807/02b/tenko1806.html>

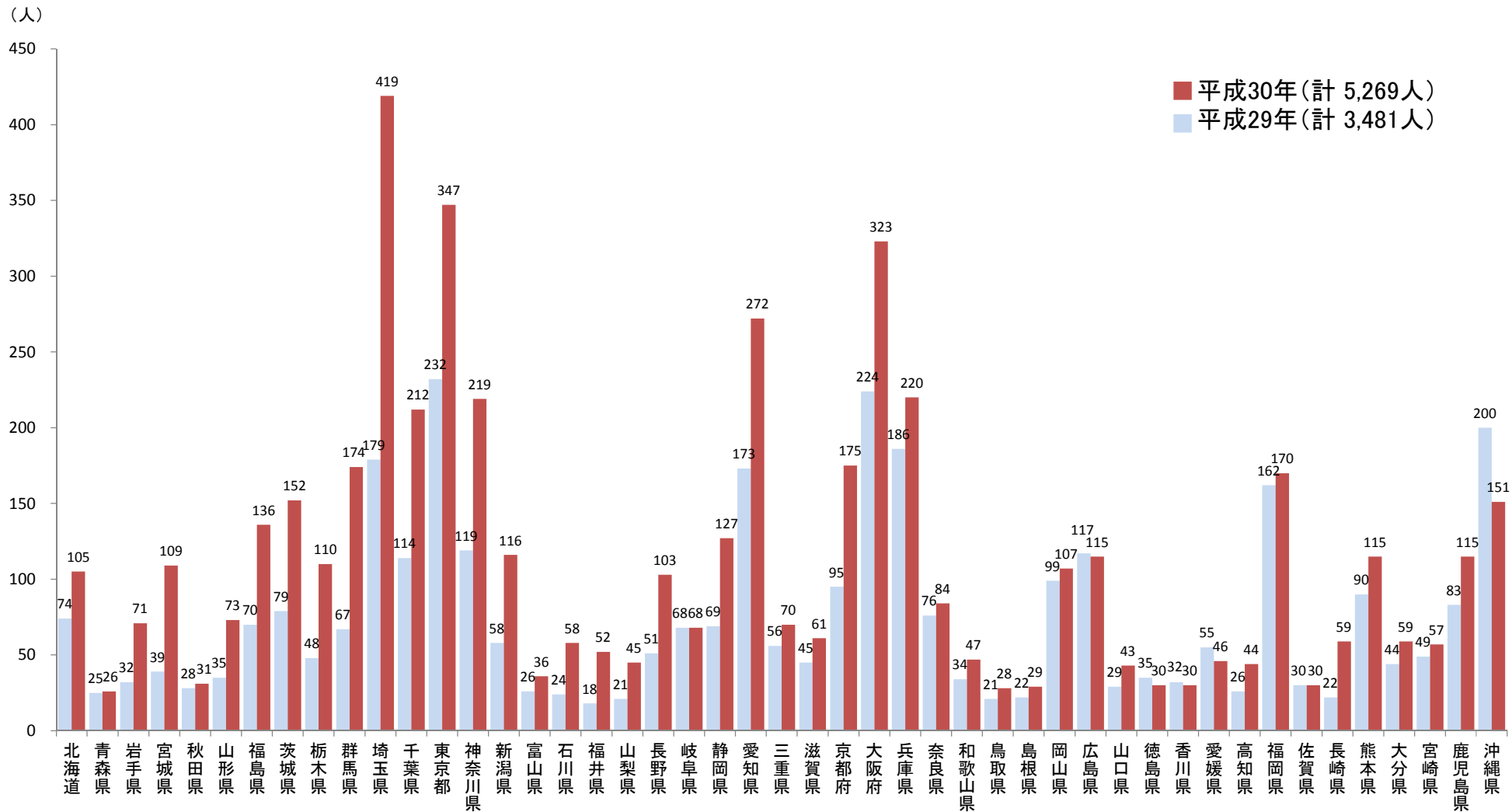
- 気象庁「向こう1か月の天候の見通し（7月28日～8月27日）」より抜粋
 - ・北・東・西日本は、暖かい空気に覆われやすいため向こう1か月の気温は高く、特に期間の前半は気温のかなり高い所があるようです。また、湿った気流や気圧の谷の影響を受けやすく、東日本を中心に向こう1か月の降水量が多い所があるようです。
 - ・沖縄・奄美は周辺の海面水温が低く、向こう1か月の気温は平年並か低いようです。また、高気圧に覆われやすいため向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込みです。

平成 30 年 6 月の熱中症による救急搬送状況

- 資料 1 熱中症による救急搬送状況（平成 30 年 6 月）
「都道府県別救急搬送人員数昨年比」（グラフ）
- 資料 2 熱中症による救急搬送状況（平成 30 年 6 月）
「年齢区分別（構成比）、初診時における傷病程度別（構成比）、発生場所ごとの項目別（構成比）」（グラフ）
- 資料 3 熱中症による救急搬送状況（平成 30 年 6 月）
「都道府県別人口 10 万人当たりの救急搬送人員数」（グラフ）
- 資料 4 熱中症による救急搬送状況（平成 30 年）
「調査開始から各週ごとの比較」（グラフ）
- 資料 5 - 1 熱中症による救急搬送状況（平成 30 年 6 月）
「都道府県別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数」（表）
- 資料 5 - 2 熱中症による救急搬送状況（平成 30 年 6 月）
「都道府県別の発生場所別救急搬送人員数」（表）
- 資料 6 - 1 熱中症による救急搬送状況（平成 30 年 6 月）
「日別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数」（表）
- 資料 6 - 2 熱中症による救急搬送状況（平成 30 年 6 月）
「日別の発生場所別救急搬送人員数」（表）
- 資料 7 熱中症による救急搬送状況（平成 30 年 6 月）
「都道府県別人口 10 万人当たりの救急搬送人員数」（表）
- 資料 8 平成 24 年～30 年の熱中症による救急搬送人員数及び死亡者数一覧（表）

資料1

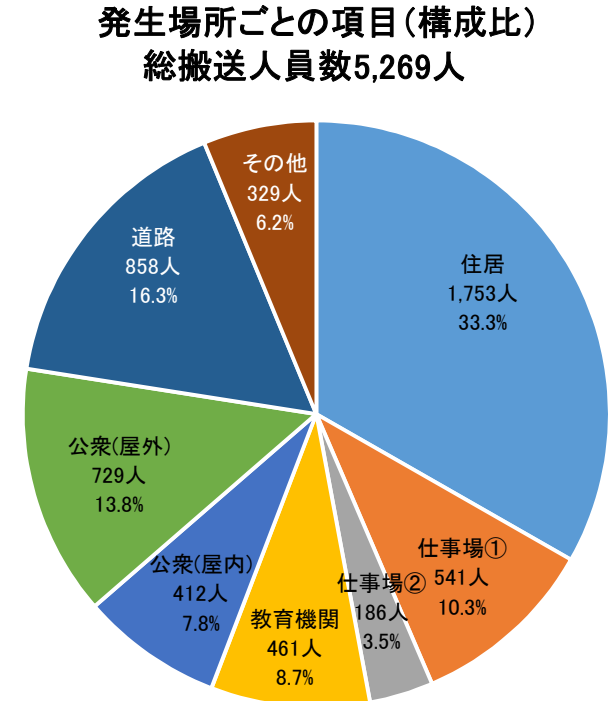
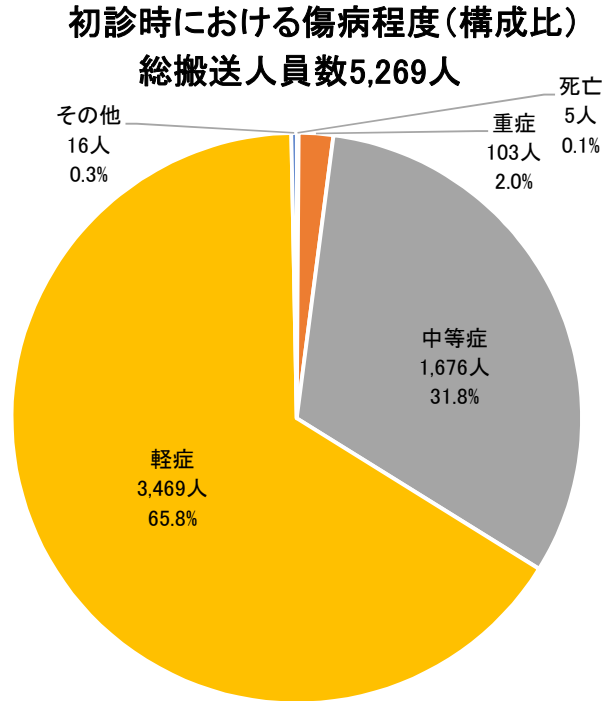
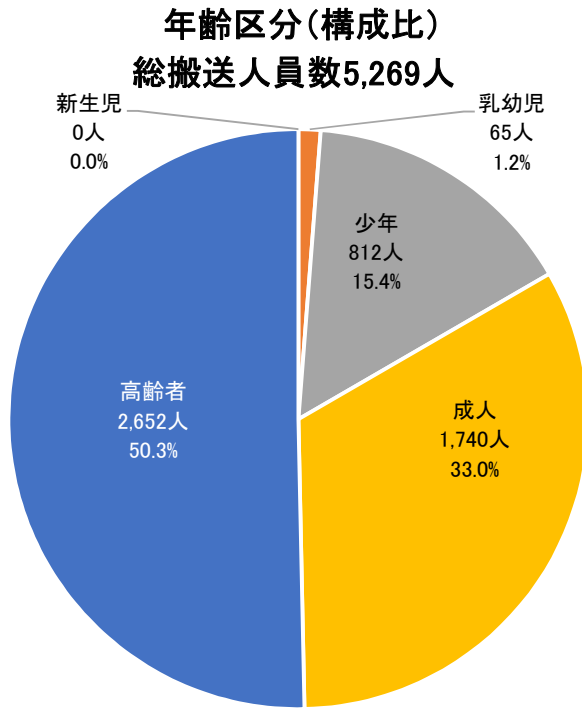
熱中症による救急搬送状況(平成30年6月) 「都道府県別救急搬送人員数昨年比」



資料2

熱中症による救急搬送状況(平成30年6月)

「年齢区分別(構成比)、初診時における傷病程度別(構成比)、発生場所ごとの項目別(構成比)」



新生児：生後 28 日未満の者
乳幼児：生後 28 日以上満 7 歳未満の者
少年：満 7 歳以上 18 歳未満の者
成人：満 18 歳以上 65 歳未満の者
高齢者：満 65 歳以上の者

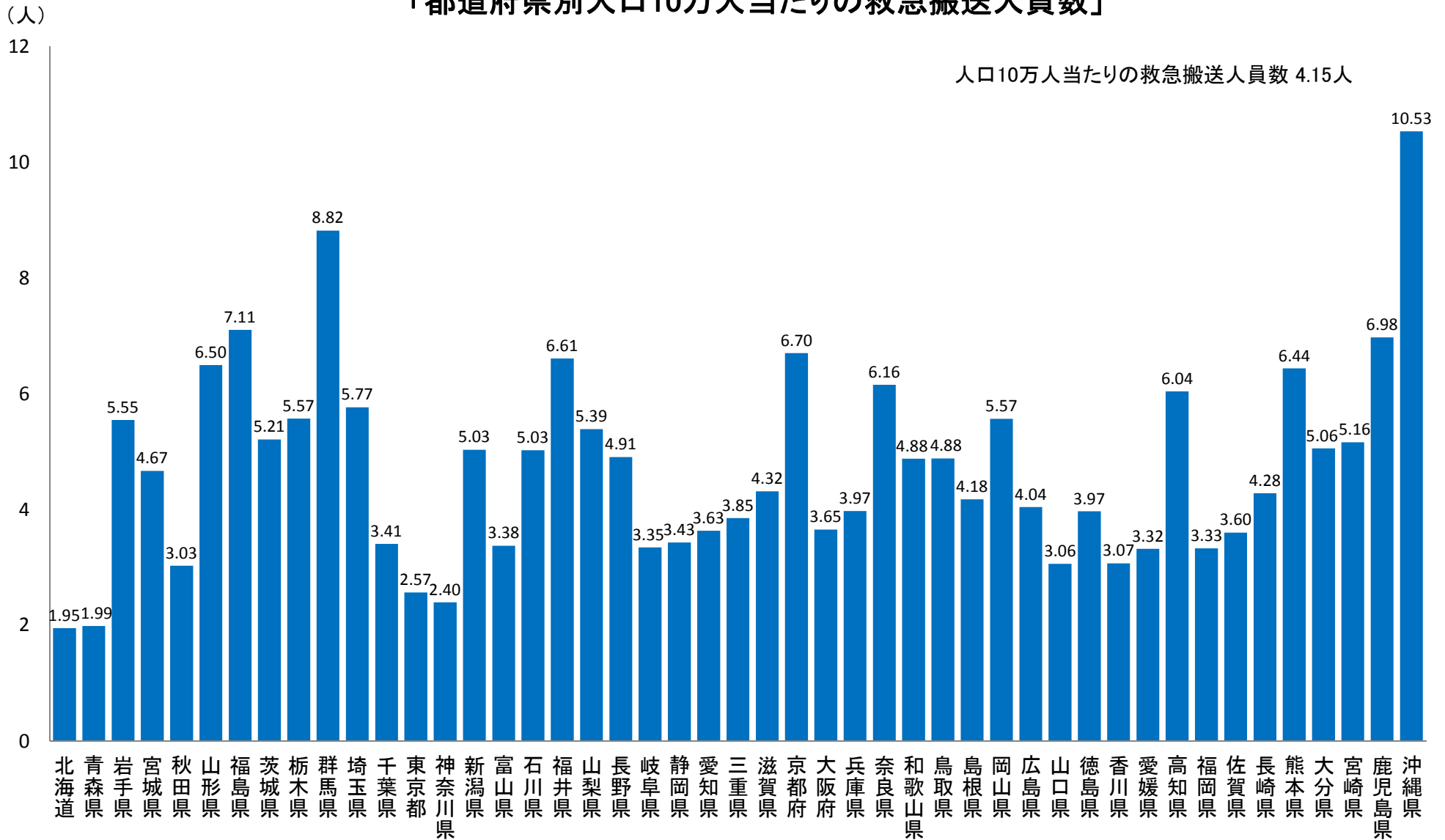
死亡 初診時において死亡が確認されたもの
重症(長期入院) 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症(入院診療) 傷病程度が重症または軽症以外のもの
軽症(外来診療) 傷病程度が入院加療を必要としないもの
その他 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの
※なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった者や通院による治療が必要だった者も含まれる。

住居 (敷地内全ての場所を含む)
仕事場① (道路工事現場、工場、作業所等)
仕事場② (田畑、森林、海、川等 ※農・畜・水産作業を行っている場合のみ)
教育機関 (幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等)
公衆(屋内) 不特定者が出入りする場所の屋内部分 (劇場、コンサート会場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場、駅(地下ホーム)等)
公衆(屋外) 不特定者が出入りする場所の屋外部分 (競技場、各対象物の屋外駐車場、野外コンサート会場、駅(屋外ホーム)等)
道路 (一般道路、歩道、有料道路、高速道路等)
その他 (上記に該当しない項目)

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

資料3

熱中症による救急搬送状況(平成30年6月)
「都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数」



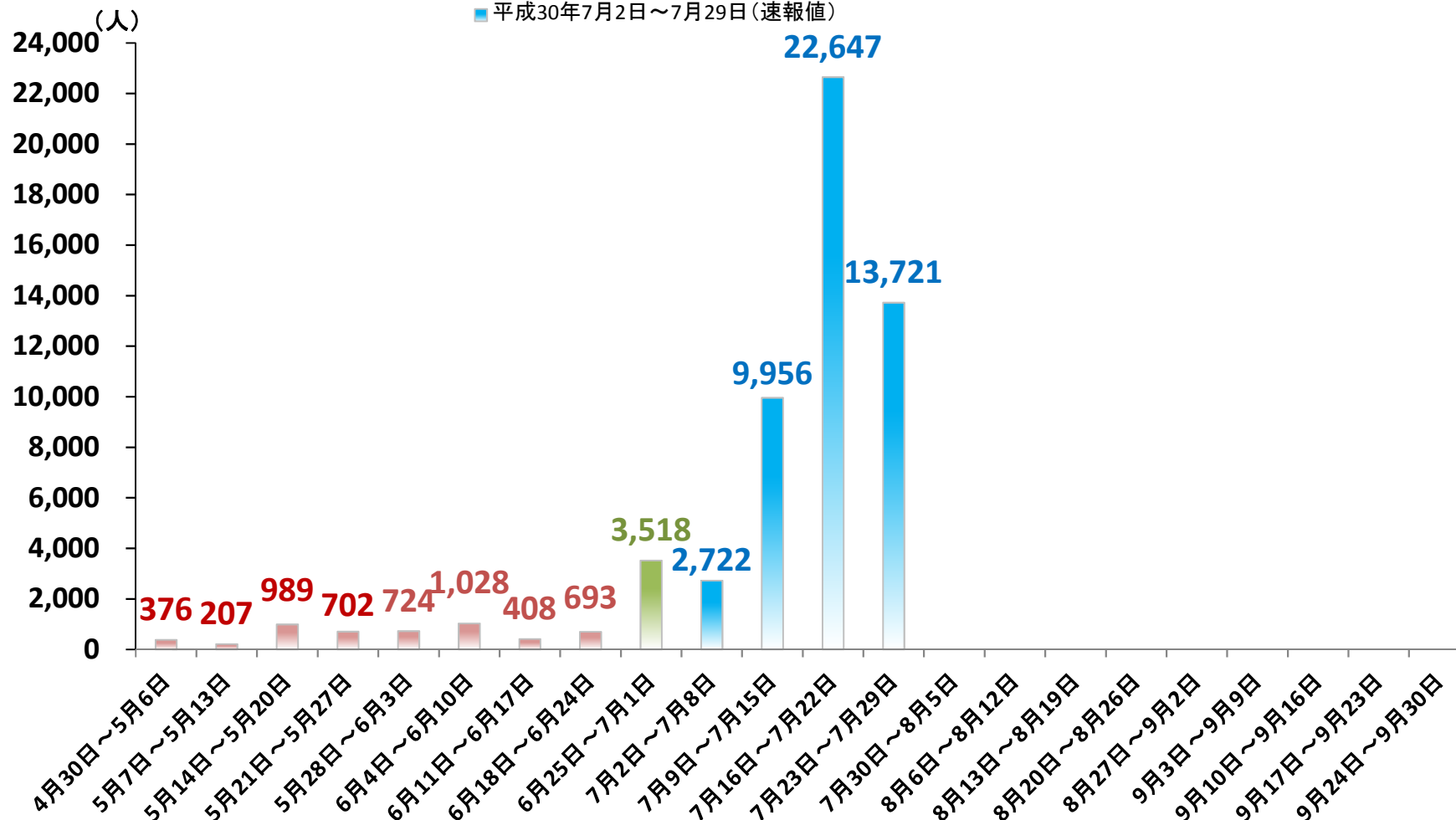
※平成27年国勢調査の各都道府県人口を基に算出しています。

資料4

熱中症による救急搬送状況(平成30年)

「調査開始から各週ごとの比較」

- 平成30年4月30日～6月24日(確定値)
- 平成30年6月25日～6月30日(確定値)、平成30年7月1日(速報値)
- 平成30年7月2日～7月29日(速報値)



* 速報値(緑、青)の救急搬送人員数は、後日修正されることもありますのでご了承ください。

熱中症による救急搬送状況(平成30年6月)

「都道府県別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数」

都道府県		平成30年6月1日～6月30日											
		年齢区分(人)					初診時における傷病程度(人)						
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
1	北海道	0	0	20	18	67	105	0	3	30	72	0	105
2	青森県	0	0	6	5	15	26	0	0	7	19	0	26
3	岩手県	0	0	8	26	37	71	0	2	22	47	0	71
4	宮城県	0	3	16	44	46	109	0	5	50	54	0	109
5	秋田県	0	0	4	8	19	31	0	1	12	17	1	31
6	山形県	0	2	10	27	34	73	1	3	19	50	0	73
7	福島県	0	0	22	42	72	136	1	4	42	89	0	136
8	茨城県	0	1	35	42	74	152	0	1	69	82	0	152
9	栃木県	0	0	22	42	46	110	0	1	32	77	0	110
10	群馬県	0	3	52	49	70	174	0	4	96	74	0	174
11	埼玉県	0	7	47	129	236	419	0	15	128	276	0	419
12	千葉県	0	3	28	81	100	212	0	2	83	126	1	212
13	東京都	0	2	34	147	164	347	0	12	119	216	0	347
14	神奈川県	0	6	44	83	86	219	0	2	83	134	0	219
15	新潟県	0	0	17	43	56	116	0	3	33	80	0	116
16	富山県	0	1	4	7	24	36	0	0	9	27	0	36
17	石川県	0	1	15	19	23	58	0	0	12	41	5	58
18	福井県	0	2	9	18	23	52	0	2	16	34	0	52
19	山梨県	0	0	2	21	22	45	0	2	14	29	0	45
20	長野県	0	2	23	25	53	103	0	2	41	60	0	103
21	岐阜県	0	1	13	27	27	68	0	2	30	36	0	68
22	静岡県	0	2	24	35	66	127	0	3	34	90	0	127
23	愛知県	0	2	33	107	130	272	0	2	57	212	1	272
24	三重県	0	0	5	26	39	70	0	3	9	55	3	70
25	滋賀県	0	3	8	21	29	61	0	1	13	47	0	61
26	京都府	0	1	17	56	101	175	1	1	31	142	0	175
27	大阪府	0	3	52	113	155	323	1	3	69	250	0	323
28	兵庫県	0	4	26	66	124	220	1	2	57	160	0	220
29	奈良県	0	1	11	31	41	84	0	3	30	51	0	84
30	和歌山県	0	2	3	18	24	47	0	0	8	39	0	47
31	鳥取県	0	0	5	5	18	28	0	2	15	11	0	28
32	島根県	0	0	1	8	20	29	0	0	16	13	0	29
33	岡山県	0	2	16	28	61	107	0	0	30	76	1	107
34	広島県	0	0	11	36	68	115	0	2	34	79	0	115
35	山口県	0	0	15	12	16	43	0	0	10	33	0	43
36	徳島県	0	1	3	6	20	30	0	0	9	21	0	30
37	香川県	0	0	4	10	16	30	0	0	19	11	0	30
38	愛媛県	0	0	8	12	26	46	0	1	15	30	0	46
39	高知県	0	0	2	11	31	44	0	2	13	29	0	44
40	福岡県	0	7	42	47	74	170	0	2	56	112	0	170
41	佐賀県	0	0	5	4	21	30	0	0	14	16	0	30
42	長崎県	0	2	14	15	28	59	0	0	18	41	0	59
43	熊本県	0	1	22	33	59	115	0	2	41	72	0	115
44	大分県	0	0	8	11	40	59	0	2	20	37	0	59
45	宮崎県	0	0	3	18	36	57	0	1	25	27	4	57
46	鹿児島県	0	0	14	38	63	115	0	0	48	67	0	115
47	沖縄県	0	0	29	70	52	151	0	5	38	108	0	151
合計【人】		0	65	812	1,740	2,652	5,269	5	103	1,676	3,469	16	5,269
割合		0.0%	1.2%	15.4%	33.0%	50.3%	100.0%	0.1%	2.0%	31.8%	65.8%	0.3%	100.0%

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

熱中症による救急搬送状況(平成30年6月)
「都道府県別の発生場所別救急搬送人員数」

都道府県		平成30年6月1日～6月30日								
		発生場所ごとの項目(人)								
		住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	合計
1	北海道	31	8	6	6	10	15	13	16	105
2	青森県	10	0	3	5	1	5	1	1	26
3	岩手県	24	11	1	5	5	11	6	8	71
4	宮城県	30	13	8	11	9	13	19	6	109
5	秋田県	17	1	1	1	2	2	5	2	31
6	山形県	19	5	5	7	7	18	7	5	73
7	福島県	44	12	12	6	5	30	15	12	136
8	茨城県	55	11	4	24	10	18	20	10	152
9	栃木県	32	14	1	12	16	14	12	9	110
10	群馬県	52	20	1	27	13	32	21	8	174
11	埼玉県	150	46	4	21	35	50	95	18	419
12	千葉県	63	27	6	13	10	39	43	11	212
13	東京都	117	13	0	25	59	33	96	4	347
14	神奈川県	61	31	2	32	18	28	42	5	219
15	新潟県	35	9	7	9	8	17	19	12	116
16	富山県	9	1	4	1	4	8	8	1	36
17	石川県	16	7	2	3	3	19	8	0	58
18	福井県	19	4	1	7	4	14	2	1	52
19	山梨県	17	7	2	2	1	10	2	4	45
20	長野県	28	5	5	9	5	16	16	19	103
21	岐阜県	14	15	0	8	5	13	8	5	68
22	静岡県	46	10	2	13	5	30	16	5	127
23	愛知県	82	47	6	25	20	26	54	12	272
24	三重県	27	15	2	3	3	8	9	3	70
25	滋賀県	20	10	1	4	2	8	11	5	61
26	京都府	49	18	3	10	19	24	42	10	175
27	大阪府	97	41	2	27	24	28	81	23	323
28	兵庫県	81	21	4	19	16	22	41	16	220
29	奈良県	29	6	2	7	7	11	18	4	84
30	和歌山県	17	4	4	0	4	6	8	4	47
31	鳥取県	10	0	2	3	3	4	1	5	28
32	島根県	12	3	0	0	0	7	4	3	29
33	岡山県	39	12	4	11	9	7	16	9	107
34	広島県	56	9	6	9	8	9	12	6	115
35	山口県	9	6	1	14	3	2	5	3	43
36	徳島県	6	5	1	1	1	5	6	5	30
37	香川県	9	5	1	1	5	5	1	3	30
38	愛媛県	16	3	6	2	6	6	4	3	46
39	高知県	17	1	6	2	2	2	8	6	44
40	福岡県	58	11	5	32	13	28	17	6	170
41	佐賀県	14	1	2	3	2	6	2	0	30
42	長崎県	23	7	6	4	2	9	4	4	59
43	熊本県	46	9	8	11	9	21	9	2	115
44	大分県	22	8	3	7	5	10	1	3	59
45	宮崎県	26	5	6	1	0	6	7	6	57
46	鹿児島県	58	6	12	4	7	7	9	12	115
47	沖縄県	41	18	16	14	7	27	14	14	151
合計【人】		1,753	541	186	461	412	729	858	329	5,269
割合		33.3%	10.3%	3.5%	8.7%	7.8%	13.8%	16.3%	6.2%	100.0%

* 端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

資料6-1

熱中症による救急搬送状況(平成30年6月)

「日別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数」

日付	曜日	熱中症 救急搬 送人員 数(人)	年齢区分(人)					初診時における傷病程度(人)						
			新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
6月1日	金	70	0	2	16	15	37	70	0	0	16	52	2	70
6月2日	土	176	0	2	38	57	79	176	0	4	59	113	0	176
6月3日	日	261	0	4	45	98	114	261	0	2	65	194	0	261
6月4日	月	214	0	5	34	54	121	214	2	7	61	143	1	214
6月5日	火	123	0	0	24	33	66	123	0	2	42	79	0	123
6月6日	水	43	0	0	4	14	25	43	0	2	15	25	1	43
6月7日	木	188	0	6	53	45	84	188	0	2	56	128	2	188
6月8日	金	104	0	4	22	28	50	104	0	2	25	77	0	104
6月9日	土	304	0	7	93	92	112	304	0	2	79	223	0	304
6月10日	日	52	0	1	18	12	21	52	0	0	19	33	0	52
6月11日	月	35	0	0	3	16	16	35	0	0	12	23	0	35
6月12日	火	45	0	1	6	19	19	45	0	0	12	33	0	45
6月13日	水	59	0	0	8	19	32	59	0	0	24	35	0	59
6月14日	木	51	0	0	8	20	23	51	0	2	14	35	0	51
6月15日	金	25	0	0	2	11	12	25	0	0	8	17	0	25
6月16日	土	58	0	1	13	24	20	58	0	1	13	44	0	58
6月17日	日	135	0	4	27	41	63	135	0	4	27	103	1	135
6月18日	月	54	0	1	3	21	29	54	0	0	18	35	1	54
6月19日	火	100	0	2	23	35	40	100	0	0	30	70	0	100
6月20日	水	35	0	0	4	18	13	35	0	0	7	27	1	35
6月21日	木	65	0	0	9	21	35	65	0	2	19	44	0	65
6月22日	金	175	0	2	21	55	97	175	0	4	56	115	0	175
6月23日	土	48	0	0	9	17	22	48	0	1	15	32	0	48
6月24日	日	216	0	2	50	72	92	216	0	5	60	151	0	216
6月25日	月	463	0	4	27	149	283	463	0	10	173	280	0	463
6月26日	火	389	0	0	18	130	241	389	1	3	136	249	0	389
6月27日	水	385	0	4	26	141	214	385	1	6	138	237	3	385
6月28日	木	320	0	3	26	135	156	320	0	11	104	204	1	320
6月29日	金	405	0	1	43	141	220	405	0	16	166	222	1	405
6月30日	土	671	0	9	139	207	316	671	1	15	207	446	2	671
計		5,269	0	65	812	1,740	2,652	5,269	5	103	1,676	3,469	16	5,269
熱中症の救急搬送人員数に 対する割合			0.0%	1.2%	15.4%	33.0%	50.3%	100.0%	0.1%	2.0%	31.8%	65.8%	0.3%	100.0%

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

熱中症による救急搬送状況(平成30年6月) 「日別の発生場所別救急搬送人員数」

日付	曜日	熱中症 救急搬送 人員数(人)	発生場所ごとの項目(人)								合計
			住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	
6月1日	金	70	12	8	4	15	7	6	11	7	70
6月2日	土	176	54	12	5	16	19	37	22	11	176
6月3日	日	261	52	2	4	12	33	72	54	32	261
6月4日	月	214	51	27	7	23	13	27	49	17	214
6月5日	火	123	39	13	3	20	10	8	24	6	123
6月6日	水	43	18	6	5	2	5	2	2	3	43
6月7日	木	188	49	13	9	43	7	23	30	14	188
6月8日	金	104	30	7	8	17	6	16	14	6	104
6月9日	土	304	84	16	12	54	23	62	36	17	304
6月10日	日	52	23	0	1	6	6	7	7	2	52
6月11日	月	35	12	7	0	1	3	2	8	2	35
6月12日	火	45	17	5	1	5	5	5	5	2	45
6月13日	水	59	19	7	4	6	2	5	11	5	59
6月14日	木	51	13	11	2	4	6	5	9	1	51
6月15日	金	25	11	3	1	2	3	3	1	1	25
6月16日	土	58	14	4	3	9	4	14	5	5	58
6月17日	日	135	41	2	4	6	9	31	26	16	135
6月18日	月	54	16	8	7	2	3	6	9	3	54
6月19日	火	100	20	12	2	12	9	18	19	8	100
6月20日	水	35	11	7	2	3	4	2	1	5	35
6月21日	木	65	25	9	5	6	5	4	8	3	65
6月22日	金	175	65	19	13	14	16	15	26	7	175
6月23日	土	48	17	5	1	4	5	10	5	1	48
6月24日	日	216	60	4	7	25	25	51	25	19	216
6月25日	月	463	148	59	20	21	33	53	98	31	463
6月26日	火	389	163	54	14	12	25	23	75	23	389
6月27日	水	385	158	59	10	23	17	32	69	17	385
6月28日	木	320	129	54	8	14	27	23	53	12	320
6月29日	金	405	182	58	9	18	22	43	54	19	405
6月30日	土	671	220	50	15	66	60	124	102	34	671
計		5,269	1,753	541	186	461	412	729	858	329	5,269
熱中症の救急搬送人員数に 対する割合			33.3%	10.3%	3.5%	8.7%	7.8%	13.8%	16.3%	6.2%	100.0%

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

資料7

熱中症による救急搬送状況(平成30年6月)
「都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数」

都道府県	6月1日～6月30日			昨年比(倍)	
	平成30年熱中症 救急搬送人員数 (人)	人口10万人当たりの 救急搬送人員数(人)	平成29年熱中症 救急搬送人員数 (人)		
1	北海道	105	1.95	74	1.4
2	青森県	26	1.99	25	1.0
3	岩手県	71	5.55	32	2.2
4	宮城県	109	4.67	39	2.8
5	秋田県	31	3.03	28	1.1
6	山形県	73	6.50	35	2.1
7	福島県	136	7.11	70	1.9
8	茨城県	152	5.21	79	1.9
9	栃木県	110	5.57	48	2.3
10	群馬県	174	8.82	67	2.6
11	埼玉県	419	5.77	179	2.3
12	千葉県	212	3.41	114	1.9
13	東京都	347	2.57	232	1.5
14	神奈川県	219	2.40	119	1.8
15	新潟県	116	5.03	58	2.0
16	富山県	36	3.38	26	1.4
17	石川県	58	5.03	24	2.4
18	福井県	52	6.61	18	2.9
19	山梨県	45	5.39	21	2.1
20	長野県	103	4.91	51	2.0
21	岐阜県	68	3.35	68	1.0
22	静岡県	127	3.43	69	1.8
23	愛知県	272	3.63	173	1.6
24	三重県	70	3.85	56	1.3
25	滋賀県	61	4.32	45	1.4
26	京都府	175	6.70	95	1.8
27	大阪府	323	3.65	224	1.4
28	兵庫県	220	3.97	186	1.2
29	奈良県	84	6.16	76	1.1
30	和歌山県	47	4.88	34	1.4
31	鳥取県	28	4.88	21	1.3
32	島根県	29	4.18	22	1.3
33	岡山県	107	5.57	99	1.1
34	広島県	115	4.04	117	1.0
35	山口県	43	3.06	29	1.5
36	徳島県	30	3.97	35	0.9
37	香川県	30	3.07	32	0.9
38	愛媛県	46	3.32	55	0.8
39	高知県	44	6.04	26	1.7
40	福岡県	170	3.33	162	1.0
41	佐賀県	30	3.60	30	1.0
42	長崎県	59	4.28	22	2.7
43	熊本県	115	6.44	90	1.3
44	大分県	59	5.06	44	1.3
45	宮崎県	57	5.16	49	1.2
46	鹿児島県	115	6.98	83	1.4
47	沖縄県	151	10.53	200	0.8
合計		5,269	4.15	3,481	1.5

※「人口10万人当たりの救急搬送人員数(人)」は、平成27年国勢調査の各都道府県人口を基に算出しています。

資料8

平成24年～30年の熱中症による 救急搬送人員数及び死亡者数一覧

(単位:人)

		平成30年(2018)		平成29年(2017)		平成28年(2016)		平成27年(2015)		平成26年(2014)		平成25年(2013)		平成24年(2012)	
		搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡
確定値	5月	2,427	1	3,401	2	2,788	1	2,904	3	調査データなし					
	6月	5,269	5	3,481	1	3,558	3	3,032	2	4,634	6	4,265	4	1,837	3
	7月			26,702	31	18,671	29	24,567	39	18,407	31	23,699	27	21,082	37
	8月			17,302	14	21,383	24	23,925	60	15,183	15	27,632	57	18,573	35
	9月			2,098	0	4,012	2	1,424	1	1,824	3	3,133	0	4,209	1
搬送人員数合計		7,696	6	52,984	48	50,412	59	55,852	105	40,048	55	58,729	88	45,701	76

※平成30年は4月30日から調査を開始